体重： 新生児～13kg位
年齢： 新生児～15ヶ月位

当説明書は本体と合わせてご返却下さい。

Nice Baby（ナイスベビー）
株式会社ベビーリース
〒270-2222 千葉県松戸市高塚新田 158-19
TEL 047-392-1234

britax römer

BABY-SAFE PLUS SHR II
取　扱　説　明　書

＼動画で見る／

tested and approved to ECE R 44/04 new test standard

ベビーセーフ・プラス SHRⅡは汎用（ユニバーサル）型チャイルドシートとしてヨーロッパの基準「ECE規則」に適合しております。

エアバッグを装備している助手席では絶対に使用しないでください。

※イラストと実際の商品は多少異なる場合があります。

この度はブリタックス・レーマー ベビーセーフ・プラス SHR Ⅱ（以下、本製品）をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みいただき、正しい取扱方法によりご愛用くださいますようお願いいたします。

この取扱説明書はなくさないよう、常に本製品の取扱説明書収納ボックスに保管しておいてください。

特に、重要なことがらについては以下のシンボルマークを用いて案内しております。

警　告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
注　意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的傷害が起こったりする可能性がある内容です。
アドバイス	本製品を安全・確実・快適にご使用いただくためのアドバイスです。

注意

1. 本製品は、「汎用（ユニバーサル）」型のチャイルドシートとして、自動車で使用するものとして ECE 規則第 44 号の第 4 改訂版に基づいて認可されており、一部の自動車を除いた座席に適合しています。
2. 自動車製作者の取扱説明書にこの年齢層向けの「汎用（ユニバーサル）」型のチャイルドシートを搭載できると明記されている自動車には、殆どの場合、このチャイルドシートを取り付けることができます。
3. 本製品は、この注意書きが記載されていない従来型のチャイルドシートよりも、厳しい条件に 基づき、「汎用（ユニバーサル）」型のチャイルドシートに分類されています。
4. なお、不明な点につきましては、本製品の発売元又は販売店にお問い合わせください。

目　次

シンボルマークの説明
1　取り付け及び取り扱い上の注意事項.....2
2　こんな車両には取り付けできません.....7
3　認可・適合性.....9
4　車両での使用方法.....10
5　各部の名称.....12
6　キャリングハンドルについてのご注意...14
7　使用方法.....15
7-1 ハンドルポジション.....15
7-2 キャリングハンドルの調整.....16
7-3 アダプター解除ボタン.....18
7-4 ハーネスを緩める.....19
7-5 ハーネスを閉める.....20
7-6 ヘッドサポートの調整.....21
8　お子様の乗せ方.....23
9　車両への取り付け方法.....25
10 車両からの取り外し方法.....32
11 トラベルシステムとしての使用.....34
11-1 ベビーカーのフレームへの取り付け.....35
11-2 ベビーカーのフレームからの取り外し.....35
12 お手入れ方法.....36
12-1 サンシェードの取り外し.....37
12-2 シートカバーの取り外し.....38
12-3 シートカバーの取り付け.....39
12-3 バックルのお手入れ.....40
13 廃棄方法.....42

1 取り付け及び取り扱い上の注意事項

警告　本製品は、体重 13kg 位 (身長 80cm 位) まで、目安として生後 15 ヶ月位までのお子様に使用してください。この条件を満たさないお子様には使用しないでください。

警告　本製品を取り付けする前に、車両の取扱説明書の「チャイルドシートの使用」に関する諸注意を確認し、取扱説明書に従って常に正しい取り付けを行ってください。

警告　エアバックを装備している助手席での使用はできません。事故の際、エアバッグが膨らんでケガをするおそれがあり危険です。必ず車両後部座席に取り付けしてください。

警告　車両のシートベルト及び本製品のハーネスを鋭利なもので傷つけないようご 注意ください。万一の時大変危険です。

警告　本製品は、シートカバーなしに使用しないでください。また、このシートカバーは拘束性能にも影響を与えるおそれがあるため、純正品以外と取替えないようにしてください。

警告　衝突速度が 10km/h 程度の事故や、うっかり落としてしまったり、車両のドアを閉める際に本製品にぶつかるなどでも破損する場合があります。外見上は破損・変形の跡が見えなくても、すぐに本製品の使用を中止してください。

警告　本製品は、必ず車両３点式シートベルトを使用して取り付けてください。その際、車両のバックレスト（背もたれ）は必ず固定してください。折りたたみシートの場合でも固定してください。２点式シートベルトでは使用できません。また、横向きや前向きには絶対に使用しないでください。

警告　本製品の改造などは行わないでください。保護効果がなくなったり減少する可能性があります。

警告　車両３点式シートベルト及び本製品のハーネスがよじれたり、たるんだりしていないこと、お子様がしっかりと固定されていることを確認してください。

警告　衝突の際に損傷の原因となる車内のおもちゃ、カーアクセサリーなどは、適切に固定するか、何も置かないでください。急ブレーキや事故の際、非常に危険です。

警告　本製品同様、車両の後部座席に乗車する大人もシートベルトをしっかり締めるよう心がけてください。事故などの際に他の乗員を傷つける可能性があります。

警告　本製品に日光が当りますと熱くなることがあります。大人が熱さの程度を確認し、火傷のおそれのないことを確認の上、ご使用ください。

警告　スライド式シートまたは車両のドア部に、本製品が挟まれないようにしてください。

警告　本製品にお子様を乗せたまま、車両から離れたり、高さのあるところ (テーブル等) に置かないでください。不慮の事故につながるおそれがあります。

注意　車両シートの形状によっては、くぼみなどにより本製品が安定しないことがあります。そのような場合には、本製品の下にかためのクッションやタオル等を敷いて平らにしてください。

注意　車両の座席が本革やベロアなど傷つきやすい素材の場合、座席にタオルなどを敷いてから本製品を取り付けてください。

注意　アジャストベルトの末端が自動ドアやエスカレーター等に挟まれないように、本体の下部にあるフックに取り付けてください。

注意　本製品を車両に取り付ける際、車両のドアに挟まれるなどでケガをしないよう、十分注意してください。

注意　お子様を乗せている時は、特に慎重な運転を心がけてください。

注意　走行中に、お子様を乗せた本製品を動かしたり、車両３点式シートベルトや本製品のハーネスなどの調節は行わないでください。また、車両への取り付けは停車中に行ってください。

注意　本製品は車両の大人の１座席を使用して装着して下さい。横向きや、２座席にまたがっての装着は出来ません。

注意　長時間走行する場合は、頻繁に休憩をとり、お子様を本製品から出してあげてください。車両の外での使用であっても長時間乗せたままにしないでください。

注意　本製品を車両から取り外す際、車両のバックルの解除は、必ず車両３点式シートベルトを手で持って取り外してください。バックルを急に解除すると、巻取装置により３点式シートベルトが急に跳ね上がり、お子様がケガをする場合がありますので十分注意してください。

注意　お子様を乗せないで本製品を車両に積んでおく場合にも、車両３点式シートベルトで固定しておいてください。

注意　自宅など車両以外で使用の際も、お子様は必ず本製品のハーネスで固定してください。また、滑りやすい場所、ひっくり返る可能性のある場所などでは絶対に使用しないでください。

2 こんな車両には取り付けできません

警告　エアバッグが装備されている助手席

警告　2 点式シートベルトの座席

警告　シートベルトのついていない座席

警告　3 点式シートベルトに損傷がある場合

警告　車両の進行方向に対して横向き、または後向きの座席

警告　3 点式シートベルトが短く、確実に固定できない座席

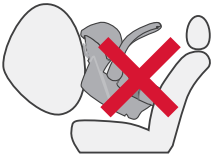
警告　3 点式シートベルトの腰ベルト側に巻取装置の付いた座席

警告　パッシブシートベルトの付いている座席 (前席に座ってドアを閉じると自動的にシートベルトが装着されるシートベルト)

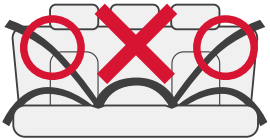
警告　バケットシートなどの凹凸のある座席や、本製品を車両座席に乗せると不安定な座席

警告　３点式シートベルトのバックルが、本製品のベルトガイドに当たり、しっかりと取り付けできない座席

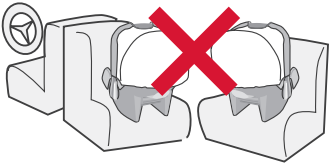
エアバッグの
付いている助手席



２点式シートベルトの座席
（後席中央などの補助席）



進行方向に対して横向き、
または後向きの座席



3 認可・適合性

チャイルドシート	ECE* R-44/04 に基づく試験と認定	
	グループ	体重
本製品	0+	～ 13kg

*ECE= 安全装置用欧州基準

●本製品は欧州安全基準 ECE-R44/04 に準拠し、設計、テスト、及び認証されています。認証の証明の E マークと認証番号は本製品本体に貼付された認証ラベルに記載されています。

●本製品に改造を加えた場合は、認証は無効となります。チャイルドシート製造者以外は手を加えることはできません。

●本製品は、EN1888:2005-11** にもとづいてトラベルシステムとしてもお使いいただけるように設計・製造されています。

●本製品と装着使用が可能として EN1888 の認証を受けているベビーカーのフレーム以外には、トラベルシステムとして使用できません。トラベルシステムとして使用する場合には、ベビーカーおよびアダプターの取扱説明書を必ずご確認ください。

**EN1888= ベビーカーの欧州安全基準

4 車両での使用方法

警告　危険 : 車両のエアバッグが作動しチャイルドシートにぶつかると、お子様が重大なけが、もしくは死に至る可能性があります。エアバッグが装備された助手席では絶対に使用しないでください。
側面にエアバッグがある座席では、車両の取扱説明書の指示に従ってください。

警告　装着する車両の取扱説明書のチャイルドシートにかかわる部分を必ずお読みください。

本製品は、以下の装着方法にて認証を得ています。

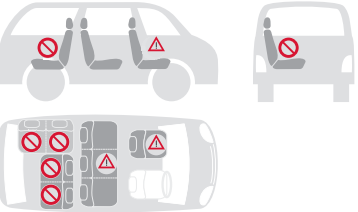
《汎用型》車両 3 点式シートベルトでの装着

《準汎用型》ISOFIX 対応車での別売専用ベースを用いての装着

車両への装着

本製品は、次の場合に使用できます。

前向き	×
後ろ向き	○
2 点式シートベルト	× 1)
3 点式シートベルト	○ 2)
助手席での使用	× 3)
後座席の窓側席	○
後座席の真ん中の席	× 4)



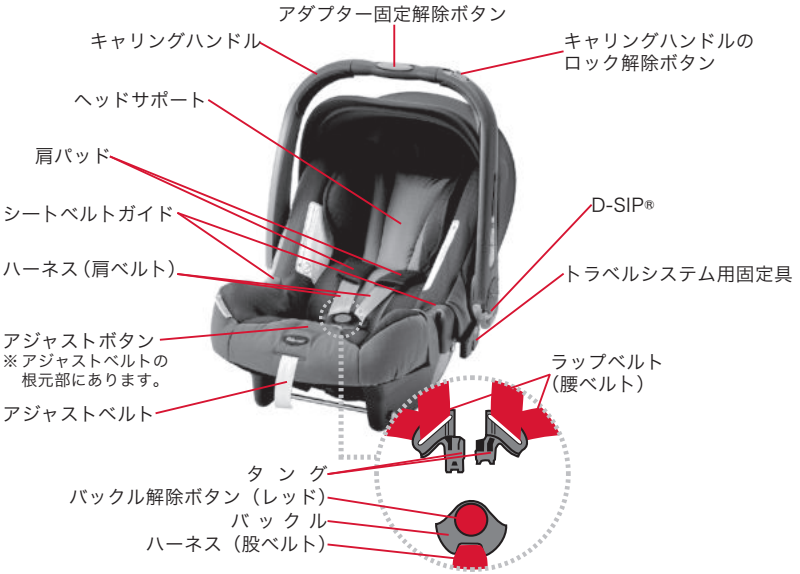
1) 車両の 2 点式シートベルトでの装着は事故の際のけがのリスクを高めます。使用することはできません。

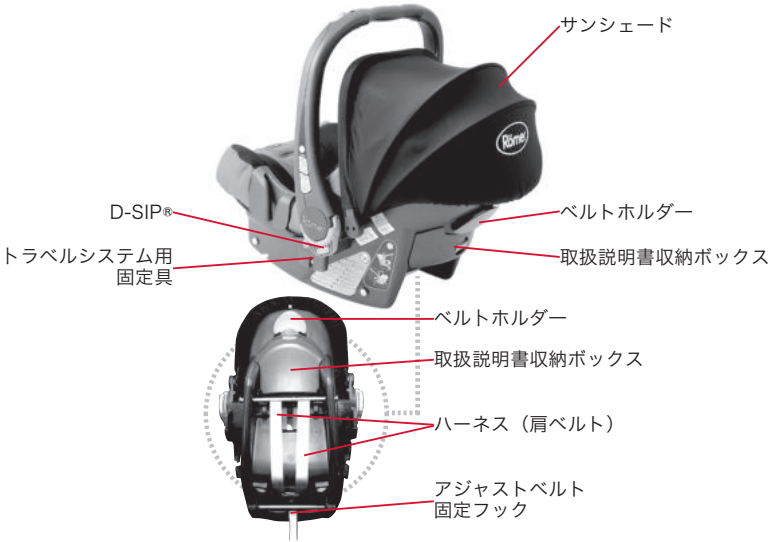
2) 車両のシートベルトは ECE-R16 または同等の認証を得たものに限ります。（シートベルトのラベルに E または e 印があることを確認してください。）

3) エアバックの装備された助手席では使用できません。その他の場合は車両の取扱説明書をご参照ください。

4) 車両のシートベルトが3点式シートベルトの場合は使用できます。

5 各部の名称


アダプター固定解除ボタン
キャリングハンドル
キャリングハンドルの
ロック解除ボタン
ヘッドサポート
肩パッド
シートベルトガイド
D-SIP®
ハーネス（肩ベルト）
トラベルシステム用固定具
アジャストボタン
※アジャストベルトの
根元部にあります。
ラップベルト
（腰ベルト）
アジャストベルト
タ ン グ
バックル解除ボタン（レッド）
バ ッ ク ル
ハーネス（股ベルト）


サンシェード
D-SIP®
ベルトホルダー
トラベルシステム用
固定具
取扱説明書収納ボックス
ベルトホルダー
取扱説明書収納ボックス
ハーネス（肩ベルト）
アジャストベルト
固定フック

6 キャリングハンドルについてのご注意

ご使用前にお読みください

垂直のハンドルポジション（ゼロ度）から子供の足に向かって誤った方向に調節しようとすると、ハンドルとチャイルドシートの座席部分との間の結合が十分でなくなることがあります。極端なケースでは、ハンドルが外れてしまうこともあります。

垂直のハンドルポジション（ゼロ度の位置）

万一本製品のハンドルが緩くなってしまった場合には、ただちに本製品の使用を中止してください。

7 使用方法

7-1 ハンドルポジション

本製品は、乗降車時にお子様を本製品から降ろさずに、キャリングハンドルでお子様を乗せたまま移動できます。

キャリングハンドルは、A、B、C、D の 4 ケ所の 位置で固定できるようになっています。各所で固定される事を確認してください。

A: 車に装着するとき、持ち運ぶとき

警告　本製品を持ち運ぶ時は、キャリングハンドルがしっかりと A の位置に固定されていることを確認してください。

B: セーフティストップ

アドバイス　この位置にすると、キャリングハンドルが誤って後方に倒れる事を防止できます。

C: お子様を乗せるとき

D: 車両以外の床等の場所でベビーチェアとして使用するとき

注意　滑りやすい場所、不安定な場所、ひっくり返る可能性のある場所等では絶対に使用しないでください。

注意　ロック解除ボタンを操作するときはゆっくりと確実に操作してください。

7-2 キャリングハンドルの調節

1. 使用方法

キャリングハンドルのロックを解除します。

キャリングハンドルのロック解除ボタン (下の図の★の部分）を、奥までしっかり押し、押したままの状態で矢印の方向にスライドさせます。

※ このロック解除ボタンの操作感は「固め」に設定されています。操作する際は、ゆっくりと確実に操作してください。

アドバイス　ロック解除ボタンは下図のように押してください。

ハンドルに対して垂直に押し込みます

しっかりと押した状態で

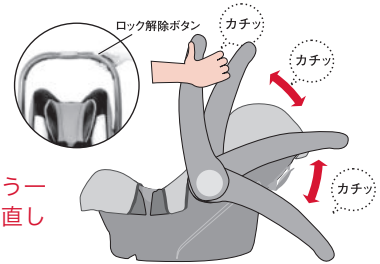
止まるまでスライドさせます

※誤った場所を押すとスライドしません

注意　このとき、キャリングハンドルの角度はまだ変えないでください。

2. キャリングハンドルを動かします。

ロック解除ボタンをスライドさせた状態で、キャリングハンドルを動かします。



注意　キャリングハンドルが動かない場合、無理に動かすと破損の原因となります。もう一度、ロック解除ボタンを強めに深く押し直してください。

3. キャリングハンドルを固定します。

キャリングハンドル A･B･C･D いずれかの位置まで動かし、ロック解除ボタンを放します。

「カチッ」という音とともに、ロック解除ボタンが戻り、キャリングハンドルが固定されます。

警告　お子様を乗せ、持ち運ぶ際や車両以外の床等の場所で使用する際もお子様が本製品のハーネスでしっかりと固定されていることと、キャリングハンドルがロックされていることを再度確認してください。

7-3 アダプター固定解除ボタン

トラベルシステムとして使用する場合に、ベビーカーから取り外す際に使用するボタンです。

※ トラベルシステムとして使用する場合には、別売のアダプターが必要です。詳しくは発売元または販売店にお問い合わせください。

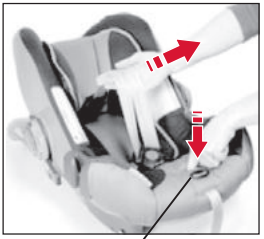
警告　アダプターの固定解除する時以外は絶対に押さないでください。

7-4 ハーネス (肩ベルト) を緩める

ハーネス (肩ベルト）の緩め方

本製品のハーネス（肩ベルト）はアジャストベルトとアジャストボタンで簡単に調節できます。

本製品のアジャストボタンを押しながら、ハーネス (肩ベルト) を手前に引き出し緩めます。

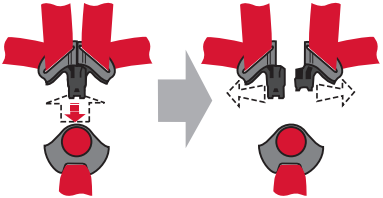


注意　肩パッドは引っ張らないでください。

アドバイス　アジャストボタンは、アジャストベルト根元部にあります。

タングの取り外し方法

本製品のバックル解除ボタンを押し、タングを外します。タングは左右に分かれます。

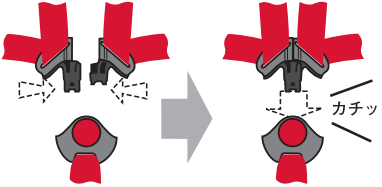


アドバイス　バックル解除ボタンは誤操作防止のため、硬めに設定されています。

7-5 ハーネス (肩ベルト）を締める

タングの取り付け方法

取り付けは、左右のタングの上下をはめ合わせて一体化させ、「カチッ」と音がするまでバックルに差し込みます。



注意　タングは片側だけではバックルに差し込むことができません。

アドバイス　バックルが「カチッ」と音がせず差し込めない時は、バックル解除ボタンを何度か強く押し込んでください。
それでも機能しない場合には、ほこりや食べかすなどの汚れにより、正しく機能していないおそれがありますので、「P.41 12-3 バックルのお手入れ」を参照してください。

ハーネス（肩ベルト）の締め方

本製品のアジャストベルトを手前に引き、調節します。

注意　ハーネス (肩ベルト) とお子様の肩の間に指が一本以上入る隙間があってはいけません。

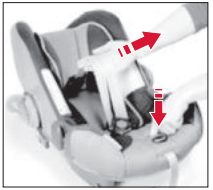
7-6. ヘッドサポートの調節

本製品に乗せたお子様の姿勢が最適な状態になるように、ヘッドサポートを正しく調節してください。ヘッドサポートを調節することで、背もたれ部分の角度も自動調節されます。

1. 本製品のアジャストボタンを押しながら、ハーネス（肩ベルト）を手前に引き出します。

アドバイス　調節をスムーズに行うため、肩ベルトは十分にゆるんだ状態にします。

注意　肩パッドは引っ張らないでください。



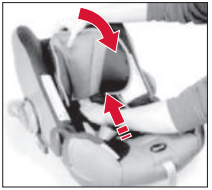
2. ヘッドサポートを手前に傾け、ロックを解除します。

傾けた状態のままハーネス（肩ベルト）が適切な高さになるまでヘッドサポートを上下にスライドさせ、お子様の肩の位置まで調節します。

① 調節をスムーズに行うため、肩ベルトは十分にゆるんだ状態にします。

② ヘッドサポートを十分に傾けた状態で操作してください。

③ 動かしにくい場合、写真のように折れ目部分に手をあてると調節がしやすくなります。



アドバイス キャリングハンドルを動かします。
ロック解除ボタンをスライドさせた状態で、キャリングハンドルを勤かします。

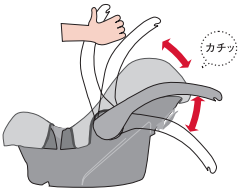
アドバイス キャリングハンドルを固定します。
キャリングハンドル A・B・C・D いずれかの位置まで動かし、ロック解除ボタンを放します。
(P.15 7-1 ハンドルポジション参照)

3. 調節が終わったら手前に傾けていたヘッドサポートをもとに戻し、ロックします。

8 お子様の乗せ方

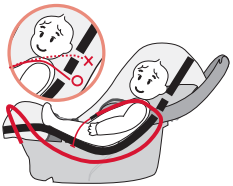
警告　本製品にお子様を乗せる際は、必ず停車中に行ってください。

1. キャリングハンドルの調整を行ってください。(P.16 7-2 キャリングハンドルの調節参照)



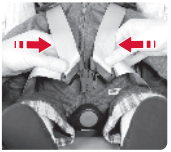
2. 必要に応じてお子様の体格に合った位置になるようヘッドサポートの高さ調節を行ってください。(P.21 7-6 ヘッドサポートの調節参照)

警告　ハーネス (肩ベルト) は、絶対にお子様の肩の位置より上のハーネス位置に設定しないでください。事故の際、非常に危険です。



お子様の乗せ方

3. 本製品にお子様をしっかりと座らせ、ハーネス（肩ベルト）を肩の上にかけたあと、タングを一体化させバックルに「カチッ」と音がするまで差し込みます。（P.20 7-5 ハーネス (肩ベルト）を締めるを参照）



警告　取り付けの際、本製品のハーネス (肩ベルト）がねじれていない事を確認してください。

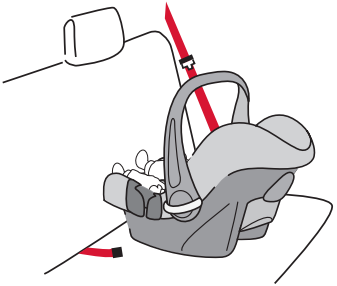
4. ハーネス（肩ベルト）に緩みがなくなるようアジャストベルトを引っ張り、締めます。

注意
- ラップベルト（腰ベルト）はお子様の腰のできるだけ低い位置にくるように調節してください。
- アジャストベルトの末端が自動ドアやエスカレーター等に挟まれない様に、本体の下部にあるフックに取り付けてあることを確認してください。
- ハーネス（肩ベルト）とお子様の肩の間に指が一本以上入る隙間があってはいけません。

9 車両への取り付け方法

警告 「2 こんな車両には取り付けできません」を参照してください。
必ず車両 3 点式シートベルトで取り付けてください。

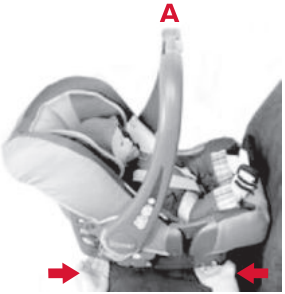
1.



本製品の座面先端部が車両の座席のバックレスト（背もたれ）に当たるよう、進行方向に対して後向きに設置します。

警告 エアバッグが装備されている助手席、また車両の進行方向に対して前向きや横向きには取り付けできません。

2.



キャリングハンドルは A の位置にし、本製品の背中面の角度が 適切になるように調節してください。

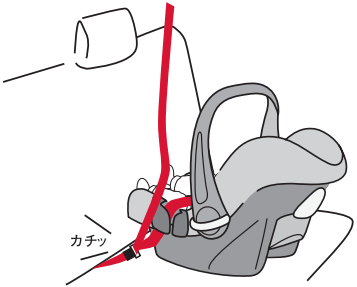
角度が適切な場合

本製品の底面前後と車両座席の座面との間に指が 2 本入る程度の隙間ができます。

警告 車両の座席形状により、適切な角度に調節できない場合には、本製品と車両の隙間に、固めのクッションやタオルなどを入れて、調節してください。

警告 「2. こんな車両には取り付けできません」を参照してください。
必ず車両３点式シートベルトで取り付けてください。

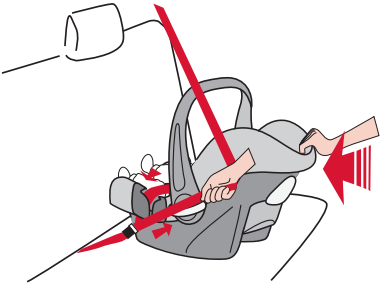
3.



車両の３点式シートベルトを本製品の上を通して、車両のバックルに「カチッ」と音がするまで差し込み、車両の３点式シートベルトの腰ベルトを本製品の両側のシートベルトガイドに通してください。

警告 シートベルトにねじれやたるみがあると、本製品を正確に取り付けることができません。
車両の座席のバックルが、本製品のベルトガイド の中に入ったり、ベルトガイドに覆いかぶさったり、干渉したりしてはいけません。

4.

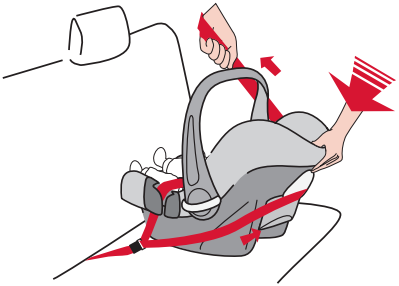


本製品を車両の座席の座面に押しつけながら、車両の３点式シートベルトを引き上げ、腰ベルトのたるみを取ってください。

注意 必要以上に力を加えると、本製品のヘッドサポートの発泡スチロール部分を破損するおそれがあります。

警告 「2. こんな車両には取り付けできません」を参照してください。
必ず車両 3 点式シートベルトで取り付けてください。

5.

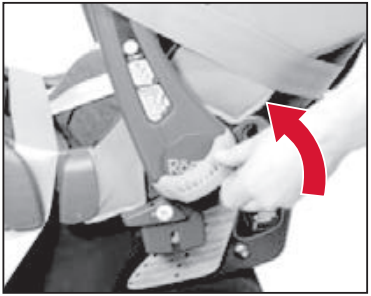


たるみを取った車両の 3 点式シートベルトを本製品の背面にまわし、ベルトホルダーに通します。肩ベルトを引き上げ、シートベルト全体のたるみを取り、本製品を車両にしっかり取り付けます。

注意 ベルトホルダー内のフックに車両の 3 点式シートベルトがかかっていることを確認してください。

6. D-SIP® 操作

D-SIP® とは、側面衝突からの安全性能を高める機能です。



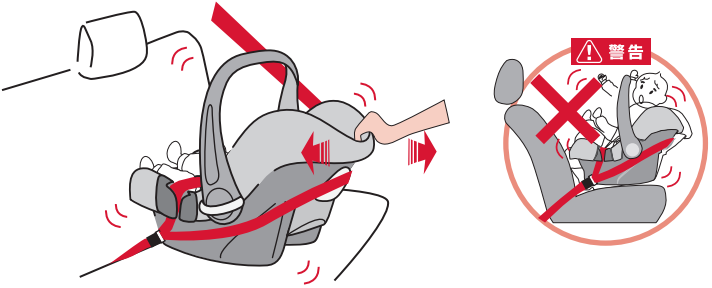
D-SIP® を広げておくと、側面からの衝突の際の安全性が高まります。車両のドア側の、D-SIP® を力チッと音がして固定するまで上に持ち上げます。

注意　ベビーシートを運ぶ場合や取り付ける場合は、D-SIP® を絶対に広げないでください。D-SIP® が破損する恐れがあります。

アドバイス　中央の座席で使用する場合は D-SIP® を広げる必要はありません。

警告 「2. こんな車両には取り付けできません」を参照してください。
必ず車両 3 点式シートベルトで取り付けてください。

7.



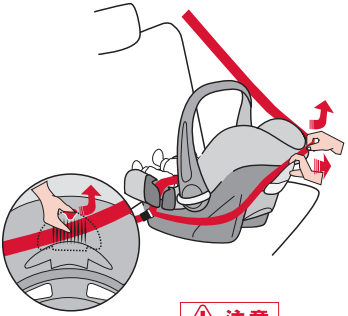
車両にしっかりと取り付けできているかを確認するため、本製品を前後に動かし、ぐらつきのないこと、また、本製品の背中面の角度が適切か確認してください。

注意 車両 3 点式シートベルトにたるみがある場合、再度、正しい取り付けの確認をしてください。

10 車両からの取り外し方法

警告　車両から本製品を取り外す際、お子様のハーネス (肩ベルト) を取り外したり、緩めたりしないでください。

1. キャリングハンドルの根元にあるオレンジ色の D-SIP® ロック解除ボタンを押しながら D-SIP® を下へ折り畳みます。



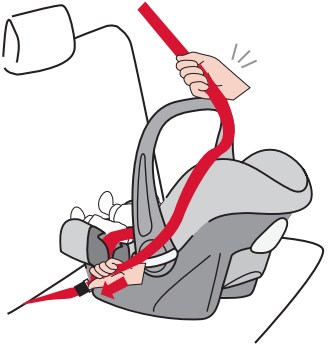
アドバイス　これにより D-SIP® が破損しないように保護できます。

2. ベルトホルダーを手前に引きながら、車両 3 点式シートベルトの肩ベルトをベルトホルダーから取り外します。

アドバイス　車両 3 点式シートベルトを自動ロック (ALR 機能) させた状態では最初にバックルを解除しないでください。

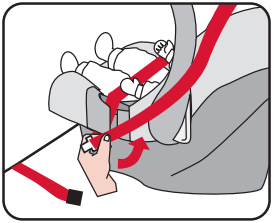
注意　ベルトホルダーを手前に強く引っ張ったり、折り曲げようとしないでください。ベルトホルダーが破損することがあります。

3. 車両の３点式シートベルトを持ったまま 車両のバックルを解除し、車両のシートベルトタングを外します。



注意　本製品を車両から取り外す際、車両バックルの解除は、必ず車両３点式シートベルトを持って解除し、取り外してください。バックルを急に解除すると、巻取装置により３点式シートベルトが急に跳ね上がり、お子様がケガをする場合がありますので十分注意してください。

4. 車両３点式シートベルトの腰ベルトをシートベルトガイドから取り外します。
5. 車両３点式シートベルトを完全に取り外したあと、お子様を乗せたまま本製品を車両から取り外します。



11 トラベルシステムとしての使用

本製品と装着使用が可能として EN1888 の認証を受けているベビーカーのフレームに、トラベルシステムとして使用できます。

トラベルシステムとして使用する場合には、ベビーカーおよびアダプターの取扱説明書を必ずご確認ください。

お子様の安全を確保するために

警告 **このトラベルシステムは次の用途には使用しないでください。**

- 折りたたみ式ベッドやゆりかごとしては使用できません。このチャイルドシートを持ち運び可能なベビーベッド、ベビーカーとして使用する場合には、新生児や幼児を運ぶ手段としてしか使用できません。
- 1 人しか運べません。
- 商業目的には使用できません。
- このチャイルドシートと装着使用が可能として、EN1888 の認証を受けているベビーカー以外のフレームには、使用できません。

トラベルシステムとして使用する場合

- お子様を乗せ、持ち運ぶ際やトラベルシステムとして使用する際も、お子様を本製品のハーネスでしっかりと固定してください。
- 本製品が、ベビーカーへしっかりと取り付けられていることを確認して使用してください。
- 本製品のキャリングハンドルを持って、ベビーカーを持ち上げたり押したりしないでください。
- ベビーカーへの取り付け、取り外しの際は、必ずベビーカーのブレーキをかけてください。

11-1 ベビーカーのフレームへの取り付け

取り付けるベビーカーの取扱説明書にしたがって、必ずブレーキをかけてください。また、ベビーカーについているシートカバーの取り外しなどについては、ベビーカーの取扱説明書にしたがってください。

本製品を進行方向とは逆向きにして、ベビーカーの上に持ち上げます。

警告　本製品をベビーカーへ取り付ける場合、絶対に進行方向に向けて取り付けないでください。

本製品のトラベルシステム用固定具 (左右 2 箇所）を、ベビーカーまたはアダプターの取扱説明書にしたがって、所定の位置に装着してください。

警告　本製品が、ベビーカーにしっかりと装着されていることを確認してください。

11-2 ベビーカーのフレームからの取り外し

ベビーカーの取扱説明書にしたがって、必ずブレーキをかけてください。

キャリングハンドルの上部中央にある「アダプター固定解除ボタン」を押しながら、ベビーカーから外れるまで、本製品を持ち上げます。

注意　ベビーカーのフレームから取り外す際は、本製品を落とさないよう、しっかりとつかんでいてください。

12 お手入れ方法

本製品のシートカバー、ヘッドサポートカバー、肩パッド、バックル、サンシェードは、簡単に取り外して洗濯や洗浄することができます。

1. シートカバー、ヘッドサポートカバー、肩パッド、バックル、サンシェード

本製品から取り外して、30°C 未満のぬるま湯に中性洗剤を入れて、手洗いしてください。

注意
- 30°C 以上のお湯で洗濯すると、色落ちする可能性があります。
- 乾燥は、自然乾燥で行ない、脱水機や乾燥機、アイロンは絶対に使用しないでください。

2. シート本体

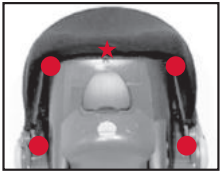
中性洗剤や薬品類を使用せず、から拭きか水拭きをしてください。

警告　本製品は、シートカバーなしでは絶対に使用しないでください。

12-1 サンシェードの取り外し

本製品は、直射日光からデリケートなお子様を守るサンシェードが付属されています。このサンシェードは、簡単に開いたり閉じたりすることができます。（ご購入時は、本製品本体に取り付けてあります。）

1. サンシェードのラバーループを本体のキャリングハンドルの根元のフック●から外します。
2. サンシェード後方の縫い目部分を本体の上部中央にあるフック★から外します。
3. サンシエード前方のサンシェードフレーム部分を持って、本体の後ろ側下方向へおよそ 45 度の角度になるよう倒します。
4. サンシェードフレームの根元部分を左右両方とも本体の取り付け部から引き抜き、サンシェードフレームを本体から取り外します。



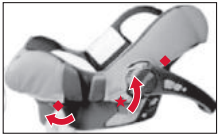
12-2 シートカバーの取り外し

1. ハーネス(肩ベルト)をできるだけ緩めます(P.19 7-4 ハーネス (肩ベルト) を緩める参照)。
2. バックルにあるバックル解除ボタン（レッド）を押し、タングを外します。
3. ヘッドサポートを一番低い位置までスライドさせます(P.21 7-6 ヘッドサポートの調節参照)。
4. ヘッドサポートカバーを上部から下方向に引きながら慎重に取り外します。

注意　ヘッドサポートカバーを外す際、ヘッドサポートの発泡スチロール部分を破損しないよう注意してください。

5. 肩パッドを開いて、取り外します。
6. シートカバーの背中部分の裏側左右にあるスナップを外します。
7. スナップを外したシートカバー部分を前方向に折りまげます。

8. シートカバーの左右にあるプラスチック部分★とラバーループ◆を本体のシートシェルおよびベルトガイド下側にあるフックから外します。



9. バックルとアジャストベルトをシートカバーから抜きます。

10. シートカバーを上方向に少し持ち上げてから、本体の下部に向かって慎重にシートカバーを取り外します。

⚠ 注意　シートカバーを取り外す際、本体およびヘッドサポートの発泡スチロール部分を破損しないよう注意して下さい。

12-3 シートカバーの取り付け

「12-2 シートカバーの取り外し」の逆の手順で行ないます。

⚠ 注意　ハーネスがねじれていないこと、シートカバーのベルト穴にハーネスが正しく挿入されていることを確認してください。

12-4 バックルのお手入れ

本製品のバックルの機能は、お子様の安全を守るために非常に重要です。バックルの不具合は多くの場合、バックル内に溜まったほこりや汚れによるものです。

不具合の症状

・バックル解除ボタン（レッド) を押してもタングが簡単に外れない。
・バックルにタングを差し込んでもロックできない。（または抜けてしまう）
・バックルにタングを差し込んだ時に「カチッ」と音がしない。
・バックルにタングが差し込めない。（何かにつっかえている感じがする）
・かなり力を加えないとバックルが解除できない。

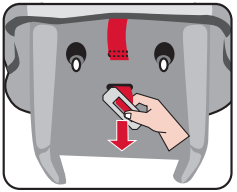
対策

バックル内に溜まったほこりや汚れによる不具合であれば、バックルを洗浄する事によって、元通りに使用できるようになります。

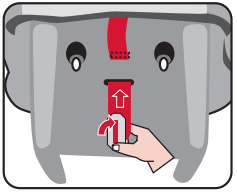
中性洗剤を入れた 30℃ 未満のぬるま湯に 1 時間ほどつけた後、よくすすいで、完全に乾かしてください。

バックルの取り外し

1. 本製品のバックル解除ボタンを押し、タングを外したあと、本製品の裏側にある金属プレートを引っ張ります。

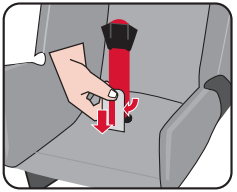


2. 金属プレートを 90 度回転させ、ハーネス（股ベルト）に添わせながらベルトスロットに押し込み、表側よりバックルを引き出し、取り外します。



バックルの取り付け

1. 取り付ける際は、金属プレートを 90 度回転させ、本製品の表側よりバックルを押し込みます。



⚠ 注意　バックルが後向きにならないように注意してください。

13 廃棄方法

お住まいの自治体の廃棄規制に従ってください。

製造元：BRITAX RÖMER Kindersicherheit GmbH
日本正規総代理店：株式会社 GMP インターナショナル

GMP サポートデスク 0120-178-363